

# よこすか景観 ニュース

第18号

発行 2018/02/01  
よこすか都市景観協議会



観音崎灯台

## . Y O K O S U K A C I T Y .

### 東海岸の景観を巡る

#### 東海岸 とは

東京湾の内海と外海に接する場所に位置する地域で、古くから軍港都市として発展していった横須賀市は、この東海岸地域に砲台や海堡、灯台といった構造物を建設し、東京湾の港口部を守る重要な役割を担っていた。観音崎は戦後まで一般の人の立入りを禁止していたため、豊かな自然が残り、現在ではエリア一帯が県下最大の公園、観音崎公園として親しまれている。東海岸には砲台跡や造船所(ドック)跡、水源地のような歴史的建物が数多く残り、横須賀美術館や観音崎自然博物館の他、お花見の名所、トレッキング、海のレジャーといったアクティビティが楽しめる市内でも人気のスポットとなっている。

#### 観音崎の由来

741(天平13)年、行基(奈良時代の僧侶。東大寺四聖の一人)が権現洞内に住む大蛇を退治し、十一面観音(船守観音)を祀ったと伝えられている。江戸時代に権現洞内に観音堂が創建され、仏崎山観音寺と称して、幕府から朱印地を与えられたのが観音崎の始まりである。(木村委員)



権現洞



観音崎灯台からの眺め

#### ● 観音崎パークセンター

構造：木骨煉瓦造平屋建 建坪約54坪 ※富岡製糸場(世界遺産登録)と同じ構造  
屋根：キングポストトラスによる木造小屋組の切妻瓦屋根  
外壁：レンガ1枚積(イギリス積)

#### 【東京湾を守る砲台の火薬庫～青少年の村～公園管理棟・案内所へ】

県立観音崎公園内にある観音崎パークセンターは、東京湾を守る観音崎砲台の火薬庫として、1898(明治31)年に旧日本陸軍が整備した建造物である。その後、1982(昭和57)年、改修工事を行い、宿泊もできる集会所「観音崎青少年の村」として利用されていた。



青少年の村(昭和57年)

2016(平成28)年1月、観音崎公園を訪れる人がより楽しく利用できるように公園の管理・案内を行う施設へと改修された。歴史的建造物としての特色を生かすため、屋根の葺替えや外壁の白いモルタルを落とし、耐震補強及び内部改修を行い、建設当時のレンガ造の外観を取り戻した。外壁などには約11万1千個のレンガが使われている。(鈴木委員)



観音崎パークセンター外観



内部小屋組



建設当時のレンガを修繕し使用

#### ● 観音崎灯台

観音崎灯台は日本で最初の洋式灯台として、1868(明治元)年9月17日に起工し、1870(明治2)年1月1日に初めて点灯した歴史ある建造物です。

現在は1925(大正14)年6月1日に再建された3代目の灯台です。灯台は入場可能で、浦賀水道を航行する船舶や対岸の房総半島までの景色を一望することができます。

参観料：大人(中学生以上)200円、子ども(保護者同伴)無料 (池野委員)  
参観時間：5～9月/9:00～16:30、10～4月/9:00～16:00

#### ● たたら浜【あのゴジラが初めて現れた!? 伝説の浜!】

1954(昭和29)年、ビキニ環礁での水爆実験で古代の眠りから目覚めたゴジラは、観音崎沖に姿を現したとして地元では親しまれている。そのため、1958(昭和33)年、この浜にゴジラの滑り台が置かれました。現在はゴジラの足跡が残り、最寄の京急線浦賀駅では電車



ゴジラの足跡!



たたら浜

の発着メロディが『ゴジラのテーマ』に設定されている。

たたら浜では、太平洋戦争が終わるまで陸海軍の演習が行われていたが、現在では家族連れが安心して遊べるビーチとして親しまれている。

透明度の高い海水、他とは異なる白い砂浜は、潮の流れによって運ばれる貝殻によって作られ、近隣の砂浜では見られない白さは南国のビーチのような景観が楽しめる。(鈴木委員)



昭和33～48年のたたら浜のゴジラ滑り台